

そうぜんじ便り

19世 俊諦和尚筆

第133号
平成30年お盆号
臨濟宗 宗禪寺
建長寺派
住職 高井和正
閑栖和尚 高井正俊
羽村市川崎2-8-20
TEL 042-554-1276
FAX 042-578-3525

お寺では毎年お盆の供養で施餓鬼法要を執り行っております。近在の和尚様が多数来山しご読経下さる荘厳な法要です。新盆をお迎えする皆様はもちろん、ご先祖様のお盆のご供養の法要です。皆様のご来山をお待ちしております。

セガキ 施餓鬼 大法要

七月十五日(日)

◆十二時五十分 御詠歌奉詠

受付は十二時より

薩摩琵琶と篠笛の共演

演目：扇の的、花の寺 他

◆薩摩琵琶 坂 麗水さん

◆篠 笛 福原道子さん

◆十四時 施餓鬼大法要

- お盆の供養塔婆を随時受け付けております。一本三千円です。
- お布施（施餓鬼供養料と付届け）は封筒の通りです。よろしくお願い致します。
- 「羽村とうろう流し」は八月四日（土）十八時半からです。会場は宮の下運動公園です。販売は七月九日（日）九時からです。施餓鬼当日にもお分け致します。灯籠代は千円です。
- お盆早朝坐禅会七月十三日～十六日。毎朝六時～七時です。

施餓鬼大法要 式次第

- 12時** 受付開始 受付は一般、新盆、とうろう流しと三カ所あります。
- 12時50分** 御詠歌奉詠 **13時10分** 薩摩琵琶と篠笛の演奏
- 14時** 施餓鬼大法要
 - ・近在、法縁のある和尚様による荘厳な大法要です。
 - ・施餓鬼和讃を参加者全員でお唱えします。
 - ・和尚の読経、水向けと施米（餓鬼に水とお米を施します）
 - ・ご参列の皆様にご水向け、施米をしていただき、御先祖様に感謝の気持ちをお届けします。
- 15時** 和尚と総代様から御礼のご挨拶があります。
 - ・餓鬼旗（供養の目印）をもらってお墓参り。一軒に一本です。

第20回 宗禅寺春の文化展

今年で文化展も二十回を迎えることができました。今年の特別展は、過去十九回の特別展の出品者の皆様に作品を出品していただき、これまでの文化展の歩みを振り返ることができるとなりました。また、昨年より茶道会の皆様の施茶をいただき、観覧者の皆様が会場内で抹茶をいただけるようになりました。大変有り難いことです。文化展では随時、出品して下さる皆様に募集しております。グループでの出品も大歓迎です。皆様の御参加をお待ちしております

◇日程

平成三十年三月十八日～二十一日 四日間開催

◇実行委員会

二回実施―二月四日(日)・三月三日(土)

◇開会式(事前準備・搬入作業)

三月十七日午後一時。寺子屋委員会と出品者一同にて般若心経読経

◇特別展「十九回の特別展を振り返る」

出品者

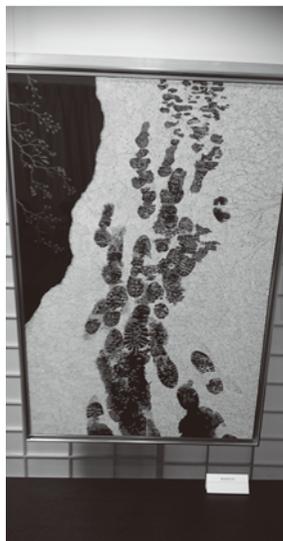
- | | |
|-------------|------------|
| 並木 恒延氏(漆画) | 新井 達矢氏(能画) |
| 新村 彩翠氏(書道) | 中村 青秀氏(書道) |
| 中野 喜一氏(絵画) | 大野 弘代氏(刺繍) |
| 岡野美恵子氏(水墨画) | 稲垣壮太郎氏(絵画) |



▶宗禅寺所蔵 丸木位里さん「松竹梅」



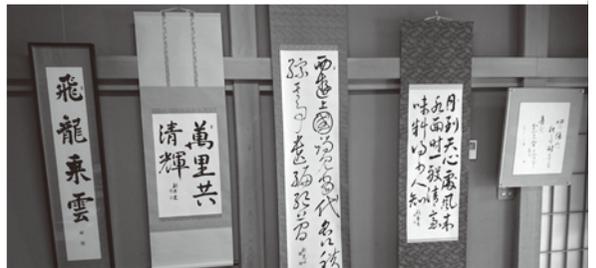
▶今回の特別展は過去19回の特別展の皆様でした



並木恒延先生「冬のかたち」
雪はうずらの卵で表現



◀岡野美恵子さんの水墨画



書道

花まつり法要

鳳友会皆様の箏の演奏会

四月八日はお釈迦様の誕生日です。お釈迦様は今から約二五〇〇年前に実在した方ですが、誕生を記念して日本全国のお寺で花まつり供養（灌仏会・降誕会）が行われています。お釈迦様の誕生仏に甘茶をおかけしたことがありますでしょうか？ 宗禅寺では二年前より盛大に花まつりを行っています。参加者皆様に般若心経の読経、和尚の法話と御詠歌の奉詠に続き、福生・鳳友会の皆様による、生田流箏（琴）の演奏がございました。今年にはギターリストの方との共演のステージでした。また、本年から羽村市華道会の皆様の御協力をいただき、花まつりの三日間、本堂建物内で花の展覧会を開催致しました。七日の土曜日には藤沢から草月流の上原瑞光先生が活けこみを実演して下さい、建物内に甘い香りが漂い、琴の清らかな音色に包まれ、参加者一同幸福な時間を過ごせたと思います。来年以降も開催致します。ご来山のほど、お待ちしております。



花御堂。中央は釈迦誕生仏



福生鳳友会



草月流 上原瑞光先生



花展 出展者の皆様と

江尻南美さん ふるさとコンサート

三月二十七日にヨーロッパでご活躍している羽村清流出身のピアニスト、江尻南美さんのピアノコンサートを開催致しました。当山と御縁のある清流在住の鈴木博久様御夫妻からの御縁で実現したコンサートです。当日午前中にピアノが届き南の間に設置、プロの調律師の方が手はずを整えて下さり、午後のコンサートとなりました。百五十名の皆様のご来山をいただき、生のピアノの音色を堪能、江尻南美さんの演奏の指使いまで間近でご覧にいただくことができ、大きなホールでの演奏会とは一味違うお寺コンサートの魅力が存分に発揮できたのではないかと思っております。お忙しいさなか、時間を割いて下さいました江尻南美様、実現のため奔走して下さいました鈴木様にご場を借りて御礼を申し上げます。



アンコールにて愛娘様と共演

土曜講座 元気に開催中です



金春憲和宗家 新井達矢さん

土曜講座も始まってから九月で丸二年を迎えます。私の仏教講座も仏教の誕生から歴史を追いつつ、もう少しで日本の仏教に入ります。また、これまで様々なゲスト講師の

皆様に御講演をいただいております。五月十二日の土曜講座では能面師・新井達矢先生との御縁より、金春流家元・金春憲和先生にお越しいただきました。家元に派金春流に伝わる貴重な能面をご持参いただき、新井達矢先生と、能面師、能楽師、両面の視点からの興味深い対談が聞けました。また、実際に装束の着付けと仕舞を見せていただき、大変充実した講座となりました。土曜講座は毎月開催しております。皆様お誘い合わせのご来山をお待ちしております。

新作「春光」を奉納

今年の春の文化展でもお世話になりました羽村市在住の漆絵画家、並木恒延先生の作品で、建長寺三門を描いた「春光」を建長寺に奉納する運びとなり、並木先生御夫妻とともに管長様にお届けして参りました。管長猊下も大変お喜び下さり、金粉蒔絵や螺鈿（らでん）などを精緻に配した先生の作品の細やかな部分にも興味深くお耳を傾けて下さいました。小方丈の玄関に早速飾って下さり、もう一つの三門として、訪れる皆様をこれからも長くお迎えして下さいることになり、大変有り難い場に同席させていただきました。



作品を奉納
左より並木御夫妻、住職、吉田管長、閑栖住職

年忌にあたる御霊位

本年八月から十一月に節目の年忌を迎える皆様です。ご法要のお申込みはお電話でも大丈夫です。ご不明な点もお気軽に御寺にご相談下さい。ご都合でご法要をなさらない場合には、お塔婆を建てての墓参供養もごさいます。ご家族皆様で真心を形に表しましょう。

◆年忌霊位(八月〜十一月)

一周忌 平成二十九年御逝去

御命日 故人御芳名(敬称略)

八月 八日 関矢 義之
八月 十七日 島田 しづ
八月 二十二日 石角作之丞
九月 五日 横田 久一
九月 十日 島田美重子
十月 十一日 島田 富夫
十月 十五日 星野 正之
十月 二十六日 大竹 峰人
十一月 三十一日 小宮山 琴枝
十一月 六日 鈴木 寛二
十一月 二十一日 池田トキ子
十一月 二十二日 新井 美雪
十一月 三十日 大塚 清子

三回忌 平成二十八年御逝去

八月 三日 中村 嘉市
八月 十八日 秋山 幹男
八月 二十五日 山本 友一
八月 二十七日 島田 文子
九月 五日 市川 輝夫
九月 七日 雨倉 久良
九月 十七日 秋山 喜男
九月 二十一日 中野 喜男
九月 二十一日 鈴木 永子

七回忌 平成二十四年御逝去

九月 二十五日 市川 光雄
十月 三日 木村 保
十月 四日 古川 末男
十月 十七日 初谷 茂
十月 二十六日 渡邊 敬子
十月 二十九日 山崎マサ子
十一月 十八日 武政 基子
八月 一日 清水 益次
八月 五日 新井 作一
八月 十八日 中村トシ子
八月 二十九日 島田 千鶴
九月 八日 島田 三郎
九月 十一日 青木美佐子
九月 十二日 原島 繁樹
九月 二十一日 横田眞紀子
九月 二十九日 中里 甲平
十月 十日 中根 善仁
十月 十九日 比留間 節子
十月 二十八日 秋山喜久雄
十月 二十八日 秋山 弘
十一月 一日 和田二三子
十一月 四日 伊藤 竜也
十一月 六日 片石 光弘
十一月 十四日 新井 キヨ
十一月 二十八日 中里 常策

十一月 三十日 及川 信利
十三回忌 平成十八年御逝去

八月 二日 越川 小夜
八月 三日 島田 信一
八月 八日 秋間 春代
八月 二十四日 増岡 克美
九月 十三日 島田 タネ
九月 二十日 小倉 チヨ
九月 二十一日 島田 真作
九月 三十日 志村 聰
十月 四日 中野 明
十月 十七日 飯島 好男
十月 十九日 横田美知子
十月 二十二日 市川コト子
十月 二十六日 吉川 和子
十月 三十日 鈴木 孝吉
十一月 十日 渡邊 孝實
十一月 十六日 島田 實
十一月 十七日 加藤キミ子
八月 二日 中村 正市
八月 二十四日 井田 幸男
八月 二十八日 秋山 金生
九月 六日 田熊 健
九月 十一日 種具 章恵
九月 十七日 木村 ユキ
九月 三十日 松田 司
十月 一日 張田谷南海男
十月 八日 中野 福一
十月 十九日 中根 ハナ
十月 十九日 浅田 タキ
十一月 六日 秋山 敏夫
十一月 二十一日 小林 敏夫
十一月 二十三日 篠崎 信夫
十一月 二十八日 笹本 清吉

二十三回忌 平成八年御逝去

八月 三日 植田 常雄
八月 八日 小林 静代
八月 十六日 中村 ヨシ
八月 二十九日 爲ヶ谷 廣
八月 二十九日 杉山 ハナ
九月 三日 細川 イシ
九月 二十四日 田中 豊治
九月 二十八日 河辺 テル
十月 四日 小林 直美
十月 二十九日 滝田 忠吾
十一月 二十六日 石川 雅治
十一月 二十七日 中野 武雄
十一月 三十日 杉山 久雄
八月 二日 中根 新吾
八月 二十四日 岡部 将史
九月 二日 中野 絹子
九月 十五日 新井みつ子
九月 二十六日 和賀キノエ
十月 三日 田邊 泉子
十月 十四日 神藤 トメ
十一月 六日 山内 順治
十一月 十四日 豊泉テル子
十一月 十五日 中野 キク
八月 二十四日 小林ヒデ子
十月 四日 時田 稔
十月 七日 雨倉 端午
十月 九日 岩田 けさ
十月 十九日 小林 チヨ
十月 二十九日 岡部家
十一月 二十八日 並木 トラ
御命日の朝。本堂でお経をよませていただいております。

三十三回忌 昭和六十二年御逝去

「タエガタキヲタへ シノビガタキヲシノビ」という言葉はどこかで聞いたことがあるのではないだろうか。昭和天皇が太平洋戦争の終結を告げる玉音放送の一部です。

去る四月二十九日禅林寺で行われた「介山忌」のとき、玉音放送の全文を見せていただきました。

終戦の前日、八月一四日に先々代の守山住職が、寺に疎開していた詔書作成にかかわったという牧瀬幸弁護士から書き写したものです。禅林寺では、一四日には太平洋戦争に日本が敗戦したことを知っていたのかと驚きました。

戦争体験のないものにとって、太平洋戦争で三〇万人もの人々が犠牲になったという事実は知っていても、戦争の実態をどのように認識したらいいのか、たいへん難しいことです。

大岡昇平の『俘虜記』という長編小説を読み直してみました。

昭和一九年フィリッピンのマインドロ島に出征した大岡は、部隊が米軍の攻撃を受け、ひとり山中を彷徨しているとき発見されレイテの収容所に入られます。

『俘虜記』は、捕虜となった体験をもとに、

その経緯を客観的かつ内省的に記述し、収容所という場で観察された人間性へのなまなましい記録に富む小説で、戦後文学の傑作といわれています。

『捉えられるまで』の編では、大岡自身である「私」がなぜ米兵を射たなかったかという考察を中心に、一兵士としてさまざま生存の感情を異様な緻密さで説明しています。

「私」は、兵隊に召集されたときは、祖国と運命をともにするまでと考えていましたが、いざ輸送船に乗り戦地に向かつていくと「死」がどつと腰を下ろして動かないのに閉口したといえます。

マインドロ島に上陸すると、こんな辺鄙な山中でなすところもなく愚劣な作戦の犠牲になって死ぬのはつまらないと考えるようになったのです。

部隊は米軍の襲撃をうけてちりぢりになってしまい、そのうえ「私」はマラリアで発熱し、のどの渇きから水を求めて草むらに潜んでいました。そのとき、一人の米兵が目の前に現れたのです。

「私」は、その米兵を射とうと思わなかったのです。

「殺されるよりは殺す」という論理は、自分が確実に死ぬことが前提であり、また「自分が死ぬ」からは「殺してもころされなくてもいい」のではないか。こうして「殺されるより殺す」からは「避け得るならば殺さな

い」という道徳が含まれていることを見出したと述べています。人類愛からではなく、「自分が殺されたくない」から「他人を殺したくない」という願望があり、「人間の血に対する嫌悪感」から「殺さない」と決意したといえます。

米兵は、その後他の場所で起った機銃の音に振り向き、立ち去っていきました。「私」は殺されることも、「私」が殺すこともなかったのです。

一方、「戦争とは集団をもってする暴力行為であり、(中略)もしこの時僚友が一人でも隣にいたら、私は私自身の生命の如何に拘らず、猶予なく射っていたらう。」とも書いています。

戦争とは、組織集団による暴力行為であるがゆえに、上官の命令で国際法上許されない捕虜を殺すという行為が盲目的に行われたといえます。だから戦争は二度とあってはならないのです。

戦後七〇数年たった今、私たちは平和にくらしていますが、どこかで集団による、組織による戦争と同じような状況がつけられ、同じ落とし穴に陥っている気がします。

大岡昌平である「私」が一人の米兵を殺さなかつたように、振り返って少し考えてみる必要があるかもしれません。もうすぐ、また八月一五日がやってきます。

正俊閑栖和尚の寺日記

三月

- 写経の会 二十三人参加。3・11の祈願
ローンク紹介。頒布。 3/1
- 日暮里の口倉庫で「春と修羅」(牧三子さん出演) 哲学的な演劇。 3/2
- 春の文化展 第二回打ち合わせ。坐禅会
二十人で満衆。気合い入る。 3/3
- 鎌倉でらこやの感謝祭で高德院大仏さん
へ。老若子供、にぎやか。 3/4
- 東博 仁和寺展。葛井寺千手観音 3/6
- 金沢文庫運慶展 本郷台栄共済病院、鎌
倉で柴田さんにローンク代 3/7
- 宗禅寺土曜講座 「和正和尚・中野祐司
さん・石塚幸右衛門さん」四十人。坐禅
会の方々に彼岸宛名ラベルを。 3/10
- 3・11 追悼復興祈願写経会。全員32人
で釣鐘をつき、般若心経を唱える。その
後、写経。いい行事完成。 3/11
- 湯島麟祥院で小川先生臨済録講義。四十
人の参加。雰囲気最高。 3/12

- 宗禅寺護持会 彼岸の掃除をして下さる。
うどん教室の皆様でうどんの接待。鎌
倉松ヶ岡文庫理事会。 3/13
- 建長寺 鎌倉禅研究会(館・高橋先生)
後、尾崎で夕食十三人 3/15
- 宗禅寺 墓地の件で島田賢司さん宅訪問。
夕方、バンクアートスタジオで林美里マ
リンパソコンサート。 3/16
- 春の文化展 作品等搬入支度。六十人。
今年は二十回記念展。坐禅会。 3/17
- 春の文化展始まる。田中敬裕君来山。初
日二百人。二日百三十人。三日八十人。
最終日八十人。今年は天候不順で、寒い
日が多く、お茶は大好評。皆さん、あり
がとうございました。 3/21
- 彼岸の早朝坐禅会 毎朝十人前後の方が
参加してくれています。皆さんと共に有
り難い修行をしています 3/18~24
- 羽村市清流出身、江尻南美さんのピアノ
コンサート。宗禅寺の本堂で生のピアノ
演奏。150人の方が満喫。愛友美御嬢
さんのヴァイオリンもとてもよかったです。
南美さんのお母さん始め、たくさん

- 花まつり 花展打ち合わせ。 3/27
- 鎌倉より、雪文英夫妻、突然の来訪。鎌
倉で大瀧麻美さんの個展。塩之内内科へ。
検査異常なし。 3/29
- 鈴木佐・坂東あきみさん来山。銀座、瑤
堂仏教講座、打ち合わせ 3/31
- ◎三月の宗禅寺来山者の合計は四千四百十
九人でした。びっくりです。
- 四 月
- 朝粥坐禅会 二五人。写経の会一三人。
家族全員で川原にお花見。私は留守番。
寺の桜も満開。 4/1
- 定例の御詠歌講習 月二回火曜日にやつ
ています。花見の人多し。 4/3
- 文化展打ち上げ反省会(今年から) 二
十二人の参加。良い意見多し。 4/4
- 田澤園の川嶋さん。境内花植え。 4/5
- 花まつり花展準備。二十三人の方で。上
原さん二時着。池ノ間・南ノ間、花で一
杯。 4/6
- 今年の花祭り法要は四月七日。
一時御詠歌奉詠。般若心経でお釈迦様の

- 誕生祝。和正住職のミニ法話。活花、琴の皆様の紹介。福祿狸の製作者、奥西希生さん紹介。鳳友会の琴と香登みのるさんのギター。上原瑞光さんの活花実演の盛大なライブ開始。百人の参拝者大満足。甘茶をかけて飲んで、甘茶ティーパックをお土産に。お釈迦様のお祭りが盛大に出来ました。羽村の華道協会の皆様ありがとうございました。
- 4 / 7
- 銀座 瑤堂仏教講座「お話・イス坐禅・写経。二十人。一回目無事終了」 4 / 8
- 福生、氏井タイヤさんへ御礼挨拶。自然塾訪問。おそばをいただく。 4 / 9
- 鎌倉塾 点心庵で小西美恵子さんのお話。坐禅も。鎌倉パークホテル泊。建長汁の作り方講習。東慶寺で井上正道和尚の七回忌。 4 / 10 ~ 11
- 花まつり花展の打ち上げ。夕方「横山大観展」へ。並木恒延夫妻と会う 4 / 12
- 梅林棟梁、本堂勝手、増築。鎌倉・東慶寺鎌禅会(横田老師の仏光録) 4 / 13
- 木彫教室(新井先生) 十人。土曜坐禅会 十二人。行事が続きます。 4 / 14

- 寺で若和尚さん方の書道教室。毎月一回。皆さん頑張っています。私は湯島麟祥院で小川先生の臨済録。 4 / 16
- 鎌倉・回春院のお弟子さん西澤拓君、修行道場より下山し来山。八年間、御苦労さまでした。うどん教室、第二期生始まる。十人で。島田辰夫先生。 4 / 17
- 梅林棟梁父子、本堂内陣手直し 4 / 20
- 雨倉利子さん七回忌。薬師堂西の土地相談。具体的に始まる。写経会十九人。坐禅会十六人。和正住職夜消防 4 / 21
- 横浜高島屋で三橋鎌幽個展。一時、建長寺鎌倉禅研究会(三浦・石井先生) 毎回五十人をこえる参加。貴重。 4 / 26
- 本堂池ノ間玄関屋根完成。本葺きの銅板屋根。皆さんよく見て下さい。夜、渡辺喜六さん宅で夕食会。淑子と。 4 / 27
- 青梅玉泉寺さん御母堂御見舞。坐禅会満衆二十人。 4 / 28
- 土曜講座 中里介山忌なので禅林寺さんで行う。岡崎和尚、島田秀男氏 4 / 29
- ◎四月の来山者は1231人でした。

五月

- 写経会 参加者二十六人。 5 / 1
- 個人的に「般若心経」通訳終了 5 / 2
- 衣部屋などの片づけを始める 5 / 3
- 多福寺 柳澤和尚の弔問。和正と5 / 4
- 朝粥坐禅会 二十六人。粥座は客殿で。終日、朝粥のパワーをいただく。 5 / 6
- 湯島麟祥院臨済録勉強会から、多福寺和尚の通夜へ。翌日葬儀へ。 5 / 7・8
- 鎌倉禅研究会(彭丹・高橋慎一朗先生) 六十人参加。 5 / 10
- 土曜講座(住職・新井達矢・金春憲和、能面と装束付けと羽衣) 七十五人程。土曜坐禅会十五人。宮島大聖院、吉田真里さん来山(緑川明世さんと) 5 / 12
- 三鷹・観音寺総代野村さん来山。秋の講演会のこと。衣の整理。 5 / 14
- 淑子さん、御詠歌で小田原へ。東博「名作誕生」ゆっくり見る。 5 / 15
- 鎌倉東慶寺で横田老師『仏光録』の講義。終って全員で四弘誓願文諷誦 5 / 16
- 薬師堂裏の土地仲介の方と相談 5 / 17
- 上野原・福昌寺和尚一周忌。修行の同級

- 生。我楽多会十人集まる。 5/18
- 衣部屋、諸物片付け。児玉・有信さん来山。坐禅会二一人。木彫十人。 5/19
- 宗禅寺寺子屋委員会 八人 5/20
- 宗禅寺総代会 薬師堂裏土地、寺で買い取ることを承認。大野哲夫総代長、お施餓鬼で中野祐司さんと交代。 5/22
- 長野・須坂満龍寺高津和尚津送 5/23
- 京都・建仁寺湊素堂老師十三回忌。相国寺承天閣美術館へ。 5/24
- 親戚・高尾、西澤君江さんの通夜・葬儀へ家族で。鎌倉、朱雀へ 5/25・26
- 銀座瑤堂仏教教室。日本橋で星さんの御見舞。 5/27
- 稲垣歯科。うどん教室。鎌倉春秋で諸相談。大船鎌倉芸術館で鎌倉てらこや総会。 5/29
- 福生市役所の武光さん他来山。 5/30
- ◎五月の来山者は八〇七人でした。
- 六月
- 写経の会二十五人の参加。 6/1
- 朝粥坐禅会二十四人。粥後、本堂のふす間・障子を夏用に取り換え。 6/3

- 五日市、星竹でいつめんの会でバーベキュー。のんびり過ごす。 6/4
- 宗禅寺で地元御詠歌交流会。玉泉寺・禅林寺から総勢四十一人。宗建寺・棚橋宗親さん大奮闘。 6/5
- 新潟・柏崎の貞観園の評議員会 6/9
- 鎌倉松ヶ岡文庫、理事評議員会。慶應大学で釋宗演展覧会と講演会 6/11
- 円覚寺・住職研修会。昭島昭和館で建仁寺管長さんと一献 6/13
- 福生 福生院神谷宜徹和尚十三回忌 6/14
- 鎌倉東慶寺、鎌禅会（仏光録） 6/15
- 羽村農協で薬師堂裏の土地の売買終了。三時、湯島麟祥院で、小川先生の臨済録講義。 6/18
- 鎌倉建長寺でコーネル大学の学生と交流。 6/19
- 有楽町・朝日ホール。金子兜太先生お別れ会。上野宋雲院で佐々木閑先生の「ブツダの生涯」勉強会 6/22
- 土曜講座（住職・浅田精利・緑川明世）おかげさまで二十二回。 6/23

○銀座瑤堂仏教講座。鎌倉塾・建長寺湘南モノレール尾渡社長。 6/24

○福生市役所で「社会を明るくする運動」の開会の講演「おかせし」 6/26

○宗禅寺寺子屋委員会 四時から 6/27

○鎌倉禅研究会（高橋秀栄先生・村田康純先生） 6/28

◎鎌倉の建長寺の仕事から帰ってきて二年半が過ぎました。この間『建長寺のすべて』『宗禅寺の歩み』の発行。和正住職の晋山式。本堂南ノ間の新築。薬師堂裏土地の取得。皆さんのおかげで無事今日をむかえています。そして「宗禅寺土曜講座」も定着してきました。「花まつり・花展」も軌道にのりました。全てみなさんのおかげです。

お寺からのお願い

お寺の運営（維持・管理・境内の整備など）は檀信徒の皆様のお布施と付け届け（お盆・お彼岸・正月など）で行われています。

お寺の護持・発展のため、付け届けをお忘れなくお届け下さいますよう、お願い申し上げます。

和正和尚日單

○東日本大震災復興祈願写経会 写経会の皆様と写経後十四時四十六分に鐘を撞きながら供養の読経 3/11

○消防 年度末最後の訓練へ。 3/15

○春の文化展 出品者の皆様と開会式そして搬入作業。 3/17

○消防 役員会。四月からの新しい班編成が決まる。 3/17

○春の文化展 最終日閉幕。四日間で五三

○人の皆様のご観覧をいただきました。

閉会式と片付け。終わってから寺子屋委員の皆様と昭島で軽い打ち上げ。 3/21

○ピアノコンサート 江尻南美さんのコンサートの会場支度 3/26

○江尻南美さんふるさとコンサート コンサート当日。朝、ピアノが届いて準備完了。

大勢の皆様にご来山いただいた。 3/27

○花展 お寺で四月の花祭りの花展の打ち合わせ。 3/29

○消防 一分団総会。会計報告と新しい班編成の発表。 3/31

○朝粥坐禅会 今年の春は暖かい 4/1

○春の文化展 お昼にお寺で関係者皆様と打ち上げ。次回への反省など 4/4

○花祭り花展 三日間花展を開催。南の間と坐禅の間が生け花とフラワーアレンジメントで彩られる。 4/6～8

○花祭り法要 御詠歌奉詠と全員で般若心経読経、私の法話に続いて福生・鳳友会の皆様による箏とギターの演奏会。来山百名。 4/7

○西東京臨済会幹事会 清岩院様で。研修会の講師、研修旅行について協議。 4/9

○瑠璃花と花音 富士学院幼稚園に入園。入園式に出席。レモン組になりました。 4/10

○花展 お昼に花展の打ち上げ。来年も開催決定。 4/12

○布教師会 建長寺にて布教師会の会議。六月の法話大会のテーマが決まる。 4/13

○建長寺竹の子こども会 建長寺の子供会

に瑠璃花と花音を連れて行く。自分で作った竹の器と箸でお昼をいただく。筍ご飯と筍の味噌汁、筍のバター炒め。最後に竹の子掘り。 4/14

○新宿 東叡寺平本祥啓和尚結婚披露宴に出席。 4/15

○書道 月一回の書道教室。夜にお通夜もあり、あまり練習できなかった。 4/16

○うどん教室 「一作」の島田辰夫先生によるうどん教室。四月から新しいクラスが開講しました。 4/17

○うどん教室 こちらは昨年から引き続きのメンバーです。 4/24

○消防 動物園駐車場にて水出し訓練。ウォーターハンマー。 4/25

○住職研修会 本山主催の研修会へ。臨済寺老師の「衆生仏戒」、見城和尚の「お寺葬のすゝめ」、お寺の民泊活用と、お寺の会計について4講座 4/26～27

○土曜講座 禅林寺様にて中里介山忌。島田文庫長の講演。私は中国仏教その2、格義仏教。 4/29

- 埼玉県上福岡 母の実家の多福寺の和尚さんの御見舞いへ。現地て母と兄と合流。三月に癌が新しい場所に見つかったとのこと。よく眠ってらっしゃったので、お顔を拝見するにとどまる。4/30
- 訃報 多福寺和尚様遷化(逝去)の知らせが入る。七九歳。宗禅寺入寺、晋山の際、過分なお祝いをいただきました。5/1
- 晋山式 三島時代の後輩、長野県飯田市の常信院・佐々木大政和尚晋山式に随喜。前日晚は、龍澤寺後藤榮山老師と夕食を囲む。雨もあがつてくれ、稚児行列もきっちりできました。5/2〜3
- 弔問 多福寺柳澤晃明和尚の弔問へ。正俊和尚と。5/4
- 多福寺津送 正俊和尚と通夜、本葬儀へ。六役の鼓のお役をいただく。禅林寺様、青梅東禅寺様も。5/7〜8
- 羽村市チャリティゴルフ 今年も出場させていただきました。5/9
- 幼稚園 保育参観に綾子さんと。ドイツ2ーの音楽にのせて皆でダンスするも、
- 二人は踊らず……。一緒に給食をいただき、一緒に降園。5/11
- 土曜講座 能スペシャル。能面師新井達矢先生の能面製作のお話と、金春流家元による実演仕舞「羽衣」と能の装束についての丁寧な御講演をいただきました。私は中国南北朝時代の仏教。5/12
- 横浜 南光寺藤井宗和尚様結婚式二次会へ。5/14
- 歯医者 歯が痛い……。5/15
- 建長寺 並木恒延先生御夫妻、正俊和尚と一緒に管長さんに相見。並木先生の建長寺三門を描いた作品を奉納。5/16
- 大覚録 午後、そのまま管長さんの講義を拜聴。5/16
- 消防 操法訓練中の福生五分団の激励へ。落車を使った操法。5/16
- 家族それぞれ 正俊和尚は上野原で同期の和尚様の一週忌、母は国立・南養寺様で御詠歌のお稽古、妻は水道橋まで通院、ということて私が子供とお留守番。5/18
- 消防 水出しと結索訓練 5/20
- 寺子屋委員会 砂川の中里新田についてと昭和十九年の羽村の空中写真測図を読み解く。砂川の中里新田は川崎中里家所縁の地。5/20
- 臨時総代会 お寺にて臨時総代会。薬師堂裏の土地の売買について。5/21
- 谷中 実家の興禅寺の施餓鬼法要へ。数年前から暑さを避けて五月に開催しています。5/22
- 須坂・満龍寺 正俊和尚と長野県須坂へ。満龍寺和尚様の津送儀式参列。満龍寺御住職は高津ドロテーさんの御主人です。5/23
- 通夜 八王子での西澤君江さんの通夜に家族四人で参列。西澤家は久仁子さんが嫁いだお家です。5/24
- 無限の清風公開講座 建長寺主催の公開講座のお手伝い。北条時頼公の本の著者、高橋慎一朗先生が多数の先生の執筆をいただき『鎌倉の歴史——谷戸歩きのススメ——』を出版し御講演。昼食は精

進料理。看頭をさせていただく。 5 / 26

○消防 備品点検前の点検。 6 / 1

○熊川・福生院 先住神谷宜徹和尚様のご法要に正俊和尚と。導師は京都建仁寺管長様。 6 / 13 ~ 14

○建長寺法話大会 毎年六月と十一月に建長寺で法話大会があります。和尚八名、一人十五分の持ち時間で次々とお話しが

聴けます。私は「変わるものと変わらないもの」でお話し。 6 / 15

○消防 水防訓練へ。 6 / 17

○消防 晩に幹部教養研修へ。 6 / 21

○上野・宋雲院 花園大学教授で仏教学者の佐々木閑先生の定期講義が始まる。お坊さんの勉強会です。 6 / 22

○土曜講座 浅田精利さんのビニールのお話と、天台宗尼僧・緑川明世さんのお話し。私は中国仏教・隋と唐の時代。三蔵法師様。 6 / 23

○施餓鬼法要 近隣寺院の施餓鬼法要が始まる。最初は青梅西分町の宗徳寺様から。 7 / 1

第三十六回羽村灯籠流し開催

本年も実行委員会の皆様のお力により、羽村灯籠流しが開催されます。今年で三十六回目を数えます。檀信徒以外の皆様の御参加できます。皆様のご来場をお待ちしております。

【日時】 平成三十年八月四日(土) 十八時半開会 二十時迄

※荒天の場合は、翌八月五日に延期となります。

【会場】 宮ノ下運動公園 羽村市羽加美四十九

※会場内臨時駐車場がございます

【灯籠】 奉納料として一基千円をお願い致します。

※事前に宗禅寺でもお譲りしております。 ※七月八日(日)午前中に、実行委員の皆様が川崎地区をまわります。是非お求め下さい。

宗禅寺観音募金

(平成30年3月10日~平成30年6月24日)

皆様からの募金、お費銭をこのように使っています。ご協力ありがとうございます。

前回繰越 43,994円

収入 72,203円

支出 80,000円

内 訳	20,000円	羽村市社会福祉協議会
	20,000円	あしなが東日本大震災被災児支援募金
	20,000円	建長寺観音募金様
	20,000円	西東京臨済会災害支援部様

繰越 36,197円

大野哲夫総代長勇退のお知らせ

七月十五日の施餓鬼法要を以って大野哲夫総代長の勇退を皆様に御報告申し上げます。大野家とは先々代から三代に渡り、晋山式での安下処のご提供など宗禅寺と深い御縁がございます。昨年の晋山式後より、後進に道を譲りたいとの意向でしたが、まだまだご活躍いただきたく、強くお引き留め致しましたが、ご高齢もあり、勇退となりました。後任の総代長は中野祐司さんです。大野哲夫総代長様、三十年に渡る永年の御奉職、誠にありがとうございました。

境内地収得のお知らせ

この度、雨倉家様との相談が調い、総代会でも賛同をいただき、薬師堂裏の地所が宗禅寺のものとなりました。今まで、ご葬儀や行事の際、その都度お貸しいただいておりました。

永年に渡り、雨倉家様にお寺としてはお願ひして参りましたが、ご英断をいただき、大変有り難く深く感謝を申し上げます。駐車場として活用させていただきます。本堂の前に車を止めなくてもすむようになりました。又、新しく倉庫を作りました。

土曜講座のお知らせ

檀徒以外の皆様の御参加も大歓迎です。

◆第二十三回 七月七日(土)

・仏教講座 宗禅寺住職 高井和正

・これからの葬儀

福生 島田屋造花店 島田豊さん

・これからの葬儀と墓地

閑栖住職 高井正俊

◆第二十四回 八月二十五日(土)

・仏教講座 宗禅寺住職 高井和正

・ヴィオラ演奏

田村しおりさん

・川崎村の昔、そしていろいろ

加藤家三姉妹
寺田美代子さん・青木 信子さん
古谷 クニさん・加藤 勇次さん

◆第二十五回 九月二十二日(土)

・仏教講座 宗禅寺住職 高井和正

・川崎羽村の進取の気風

郷土史家 桜澤一昭先生

・題未定

元金沢文庫長 高橋秀栄先生

◆第二十六回 十月十三日(土)

・仏教講座 宗禅寺住職 高井和正

・私のしてきたこと「島田組のい」と

檀信徒・島田組会長 島田弘道さん

・羽村の自然と文化・カワラノギク・地

口あんどん 郷土研究会 岡崎学先生

※いずれも十三時より十六時、宗禅寺で。

平成三十年鎌倉禅研究会

高井正俊和尚主宰の鎌倉建長寺での聴講会です。資料代五百円と拝観料をご負担をいただきます。予約不要です。

◆第四百十三回 七月十九日(木)

・建長寺開山蘭溪和尚語録の現代語訳

法政大学講師 建長寺研究員 彭 丹先生

・禅宗の清規——蘭溪道隆の清規をめぐって

鶴見大学講師 徳善寺住職 尾崎 正善先生

◆第四百十四回 八月二日(木)

・建長寺建立に込めた北条時頼の信念

作家・歴史研究家 織田 百合子先生

・蘭溪道隆「坐禅儀」について

駒澤大学教授 佐藤 秀孝先生

◆第四百十五回 九月六日(木)

・建長寺開山蘭溪和尚語録の現代語訳

法政大学講師 建長寺研究員 彭 丹先生

・中国禅僧と日本(仮題)

国際日本文化センター助教 榎本 涉 先生

◆第四百十六回 十月十一日(木)

・建長寺に遺された位牌

早稲田大学大学院・廣福寺副住職

白川 宗源 師

・常楽寺時代の蘭溪道隆

元金沢文庫長 高橋 秀栄 先生

※いずれも十三時〜十六時半、建長寺応供堂で。

宗禅寺毎月の活動

お寺で新たな自分の発見を

- 朝粥坐禅会…… 毎月第一日曜日 朝6時～8時半 一日の始まりに坐禅。坐禅後、禅の作法でおかゆをいただきます 8/5 9/2 10/7
 - 土曜坐禅会…… 毎週土曜日 子供：夕6時～7時 大人：7時半～9時半 繰り返し繰り返し深い呼吸を。イス坐禅もあります ※8月4日は羽村灯籠流しのためお休み致します。
 - お盆早朝坐禅会…… お盆中(7月13日～16日) 毎日朝6時～7時開催。短い時間で初心者向きです。
 - 土曜講座…… 毎月一回の勉強会。13時～16時 地域文化の共有と創造を目指し、地域伝統を後世に。 7/7 8/25 9/22 10/13
 - 写経会…… 毎月1日、11日、21日、13時～15時 般若心経の写経をしています。支度、片付けは全員で。
 - 御詠歌…… 毎月第1・3火曜日 13時半～15時 指導：高井淑子
 - 木彫教室…… 毎月第1・第3土曜日 13時～16時まで 講師：新井達矢先生 場所：宗禅寺禅センター 仏像や能面を自分で彫ってみませんか？月謝5000円(道具、材料費は要別途)
 - 俳句教室…… 毎月1回、適宜。問い合わせ先：中野つたえ ☎554-2444
 - 尺八吹禅の会…… 毎月第1、第3月曜 夜7時半～9時頃 坐禅15分、練習60分、問い合わせ：坂井陵重 ☎554-3273
 - うどん教室…… 毎月2回、指導 島田辰夫 一作店主。
- 女性サンガの会・薬師講・寺小屋委員会・護持会 —活動中です—